

鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	撤去工事の現場に行く為、会社1階の倉庫にて防音シートをトラックに積み込む作業の際、防音シートを電動アップスライダーに乗せる作業を行うため階段を上り、安全ロープに安全帯をかけ整える際、バランスを崩して飛び下り、着地時に両足踵を骨折した。	58	—
2	11~12	企画ビル工事現場において、トラックを誘導しようと、ゲートを開けた際に、トラックが、後方にバックした為、安全確認の為歩道に向かった際、ゲート下部のワイヤーに足を引っ掛け転倒し、被災した。	67	—
2	7~8	作業所内でトイレに行こうとした時、場内のトイレが使えず蜜向かいの公園のトイレに行こうとして、入口のゲート下のワイヤーが右脚に引っ掛かって転倒し、右肩を打ち鎖骨を骨折した。	67	1~9
2	10~11	プラットホーム西側の監視室上で外壁材受け水きりの骨付作業を行う為外部足場から屋根上へ上がり鉄骨上部に乗り移ろうとした際、足元が滑り3.3m下の1階床上（コンクリートスラブ）へ転落し受傷した。屋根上から鉄骨上部に乗り移る際安全帯のフックを掛けていなかった。	48	1~9
3	16~17	外部側から内部側への安全通路で、地中梁部を越す部分に立ち馬（可搬式作業台）を設置していた。被災作業員は躯体建物のPコン埋め作業を行うため、この立ち馬を渡る際、立ち馬上を歩き、降りようとした時に躓き、そのまま体勢が崩れて地面に飛び降り、左足の踵を骨折した。	77	1~9
4	11~12	当社駐車場においてポンプ車を洗車中、後向きに歩いてつまずいて転び、足をひねった。帰宅して様子をみたが、右アキレス腱のあたりが痛くなった。	63	1~9

4	16~ 17	解体予定の建物内にて、タンスの木枠をばらしている最中、その廃材につまずき、バランスを崩し転倒し、右手・右足をコンクリート地面につき負傷した。	62	1~ 9
6	11~ 12	地中梁コンクリート打設中、鉄筋を洗いに行くため左手にバケツブラシを持ち、右手は仮囲い水平材を持ち、型枠サポートを跨ぎ渡った際に足が滑り、転倒して腰の辺りを強打した。	64	1~ 9
7	16~17	現場内建物外周部東側を巡回中、敷鉄板端部に左足が引っ掛かり、左足首を捻った。	50	100 ~ 299
7	16~ 17	当日の作業終了後、解体工事現場脇の通路を駐車場に向かうため移動中、通路の右に置いてあったトンパックの荷吊り用帯紐に右足を引掛けてしまい転倒し、負傷した。	60	30 ~ 49
7	16~ 17	資材置場において、サポートの整理作業中、足元に置いてあるサポートに気が付かず、サポートを踏み、そのときに右足を捻って負傷した。	39	10 ~ 29
9	8~9	アスファルト上に設置したコンテナBOX前で、コンクリート殻を一輪車にて運搬しコンテナBOXに入れる作業をしている時、スロープに使用していた足場板に一輪車で通過中、足を右側へ踏み外し右側へ倒れ、右足首を痛めた。	34	1~ 9
9	19~ 20	夜に営業活動している中で、当社顧客様宅へ訪問した際、ご自宅のアプローチの石につまずいて転んだ、その際、右ヒザを痛めた。	51	50 ~ 99
10	0~1	現場巡回中に屋上の床に躓き足を滑らせて転倒し、左膝を骨折した。	68	1~ 9
10	8~9	場内の片付け時、被災者が建物内にある立ち馬を持ち建物外まで運ぼうとしたところ、段差につまずき、コンクリートの地中梁の上に転倒し、腰を強く打った。	36	10 ~ 29
11	13~ 14	営業打ち合せの為、車で移動中、車がスタックした為、ギアをニュートラルにして車外に出て車を押したところ、車が緩やかな土手を滑り落ちてしまい、止めようと	57	1~ 9

		してドアに挟まれたまま滑り落ちた為、胸を強打し負傷したものである。		
11	10~ 11	消防団分団立て替え工事西側フラットパネル下にて、杭養生の単管建地設置の為、幅1m程度、高さ2.7m程度の泥コンクリートの上を移動していた。この時根ガラの跨ぎにくい所を控えの外側から移動しようとした時に、次に使用する為に仮置きしていた単管を固定している部材と誤認して掴み、姿勢を崩して腰から落下し、腰上背骨に全治28日の圧迫骨折という怪我を負う災害が発生した。	50	10 ~ 29
11	3~4	1階柵足場組立作業において、当日の作業が終了し、作業終了後の片付けの確認及び翌日の仕事で使用する防災シートを右手に抱え、階段を上った。上りきったところで躓き前方に転倒しジョイントピンに右目を打った。(原因) 1.ジョイントピンの放置。 2.夜間工事で足元が暗かった。 3.右手で防災シートを抱えていた。 4.作業が終わり、気の緩みがあった。	38	1~ 9
12	7~8	朝、現場についたあと、道具(バール、インパクト)を両手に持ち現場ゲートから入場スロープ上の鉄板上に少し雪があったため足を滑らせ転倒して、敷鉄板上に腰から落ちて腰を負傷した。	65	1~ 9
12	8~9	硝子材搬入時、作業通路を確保するために、一階部屋の資材を片付けていたところ、開口部養生用のコンクリート蓋を避けようとして、バランスを崩し転倒した。その際、右足の2カ所を骨折し、被災した。	51	10 ~ 29
12	9~10	自社工場の前にて、トラックの荷台より降りるときに変な足のつき方をしたため、捻って左膝を負傷した。	51	1~ 9
12	9~10	新築工事現場において、外構工事作業を行っている作業員へ指示をするため、被害者が碎石敷きの通路を歩いていた際に、微妙な段差があり、左足をとられて捻り、骨折した。なお、転倒はしていない。	49	1~ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)